(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 秋田県

本事業の担当部局名 あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1.3 出合いの機会・場の提供に関する取組							
個別事業名	出合い・結婚応援事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和4年度	
総事業費(A)(円)	5,652,400		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	5,652,400	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	5,652,400							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	9,400	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	9,400	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	5,643,000	0	0	0	0	5,652,400	
	対象経費支出予定額	5,643,000	0	0	0	0	5,652,400	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 秋田県は、若年層の県外流出による社会減と、婚姻件数と出生数の減少による自然減により人口減少に歯止めがかからない状況である。 県人口の自然減抑制のため、若年層に向けたライフプランを学び考える機会の充実や地域全体で結婚・子育てをする機運の醸成のほか、あきた結婚支援センターを本県の結婚支援の中心に位置づけ、結婚・出産につながる独身者の出合いの機会の創出に向けた取組の充実を図る。</p> <p><本個別事業の位置付け> 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現に位置づけられており、その達成に向けた取組として、結婚を希望する人に対する出合いの機会の提供など、結婚につながる総合的な支援を行うこととしている。 その一環として結婚を希望する独身者に対し、婚活に必要なスキルの向上と出合いの機会創出と、若年層を対象に婚活よりも気軽な出合いの機会を創出するものである。</p>						
番号	項目	内容						
1	婚活スキル向上セミナー	<p>【開催数】 ・大規模セミナー(開催数:2回、定員:男女各50人 計200人)</p> <p>【内容】 ・結婚を希望する独身者が、自信を持って婚活に臨めるよう、異性とのコミュニケーションスキルを高めるセミナーを開催する。 ・年代に対応したコミュニケーション法や自己PR法等を学べるセミナーとし、対象年齢を設ける。 ・セミナー終了後、希望者には結婚サポーターへの個別相談を可能とする。</p>						
2	婚活スキル向上交流会	<p>【開催数】 ・交流会(開催数:2回、定員:男女各50人 計200人) ※前項のセミナーに参加した者のみを対象とする。</p> <p>【内容】 ・セミナーで学んだ内容を実践できる場としての交流会とする。 ・セミナーの感想や結婚の希望を叶えていく上での意識変容を把握するとともに、次年度以降のステップアップに結びつけるため、参加者を対象としたアンケートを行う。 ・結婚サポーターによるフォロー、個別相談対応者への見守り支援を行う。</p>						

3	AKITA友活事業	【開催数】 ・イベント(開催数:3回、定員:男女各30人 計180人) 【内容】 ・気軽に参加できる出会いの場として、出会いイベントを県が委託事業により実施する。 ・R6のアンケートにおいて、特に女性から要望の多かった年齢制限をイベントごとに設けることで、交際に発展しやすい同年代の交流を促進する。 ・結婚の希望をかなえる上での独身者のニーズや意識の変容を把握し、また、次年度以降のステップアップに結びつけるため、参加者を対象としたアンケートを行う。
---	-----------	--

個別事業の内容

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

課題1 新型コロナウイルス感染症の影響により、出会いの機会が減少
 ・令和2年から5年にかけての新型コロナウイルス感染症の影響下において、祭りやイベント等の中止が相次ぎ、異性と出会える機会が少なくなった。
 ・「応援隊」による対面での出会いイベントについても中止・自粛が続いたため、開催回数が減少した。その後、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行され、徐々にイベントの開催数が増加しているものの、コロナ禍以前の水準までは至っていない現状である。
【課題1に対応する取組】
 ・本個別事業2・3により、県が先頭となって出会いイベント等を開催し、減少した対面での出会いの機会の回復を図る。

課題2 普通の生活において、同年代の異性と話す機会がない。
 ・結婚を希望する独身者の中には、恋愛経験が少ないほか、普段から異性と話す機会が少ないことから、異性と話すことを苦手に思い、出会いイベント等の場において上手く自分をアピールできないとの声が一定数あり、自分のコミュニケーション力に不安を感じている独身者が多い。
【課題2に対応する取組】
 ・結婚を希望する独身者に対し、コミュニケーション能力向上などのスキルアップを行う。
 ・イベントでは、結婚サポーターが独身者(希望者)の相談を受け付け、フォロー等を行う。

課題3 これまでの出会いイベントは婚活色が強すぎる
 ・一般に行われている婚活イベントは、結婚を強く望む方々の出会いの場であり、気軽な気持ちで参加できる出会いの場を求める声がある。
【課題3に対応する取組】
 ・趣味や体験型コンテンツをテーマとすることで、出会いとは別の要素が加わり、気軽にイベントに参加しやすい雰囲気を出す。
 ・個人だけではなく、グループでの参加も受け付けることで、1人では出会いイベントに参加しにくいと思っている独身者もが参加しやすくなる。

課題4 女性の参加者が集まらない
 ・イベントにおいて、男性からは毎回定員以上の参加申込があり、参加者を抽選で選出しているが、一方で女性からの参加申込は少なく、男女間の人数の偏りを軽減するために男性の参加者数を調整せざるを得ない状況が依然として続いている。
【課題4に対応する取組】
 ・イベントのテーマは、女性が参加したくなるようなものとし、女性の参加率アップに努める。
 ・R6事業で実施したアンケートにおいて、特に女性や若年の参加者から同世代との交流を求める声があった。これに対応し、イベントごとに年齢制限を設け、同世代同士の出会い・交流を後押しする。

課題5 一度に大勢の異性と出会える機会がない。
 ・参加者が少ないと注目され恥ずかしいとの意見が寄せられており、市町村では開催が難しい大規模イベントの開催が求められている。
【課題5に対応する取組】
 ・一回あたりの定員を増やすことで参加者の抵抗を減らし満足度の向上を図る。

※用語説明
 ・すこやかあきた出会い応援隊(以下「応援隊」という):
 結婚を希望する独身者に対し、出会いの機会を創出するため、センターに登録して出会いイベントや婚活スキル向上セミナー等を開催する民間団体等である。
 ・結婚サポーター(以下「サポーター」という):
 地域の結婚相談役として県に登録し、結婚を希望しているがサポートを必要とする方に、お世話やアドバイスをする者。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		合計特殊出生率		1.44 (R7年)
参考指標 ※全事業共通	項目	単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率		1.10 (R5年)	
	婚姻件数	件	2,302 (R5年)	
	婚姻率		2.5 (R5年)	

	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	(アウトプット)				
	①	セミナー・交流会の参加者数	人	200	176 (R6. 12月末)
	②	セミナー・交流会の募集定員に対する参加者数の割合	%	100	97 (R6. 12月末)
	③	イベントの参加者数	人	180	148 (R6. 12月末)
	④	イベントの募集定員に対する参加者数の割合	%	100	74 (R6. 12月末)
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	60	60 (R6. 12月末)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	60	未集計
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	交流会においてのお引き合わせ成立者数(婚活事業)	人	55	213 (R6. 12月末) ※連絡先交換含む
	⑤	受講後、婚活に対し自信がついた参加者の割合(婚活事業)	%	80	53 (R6. 12月末)
	⑥	イベントにおける連絡先交換者数(友活事業)	人	100	90 (R6. 12月末)
	⑦	同様の出会いイベントへの参加を友人に勧めたいと思った参加者の割合(友活事業)	%	75	76 (R6. 12月末)
	⑧				